

## 令和4年度 環境と健康のポスター・標語コンクール事業 表彰式に受賞者18人が参加



来場者に笑顔とトロフィーを見せる受賞児童・生徒とポスター・標語コンクール事業関係者

11月25日に大竹市で開催された第63回広島県公衆衛生大会の席上で、「環境と健康のポスター・標語コンクール優秀作品表彰式」と「受賞作品の展示」を行いました。

平日の開催にも関わらず、表彰式では、最優秀賞、特別賞、県大会開催地である大竹市の優秀賞を受賞した児童・生徒18人が出席し、受賞した自分の作品が会場に紹介される中、各賞のプレゼンターから表彰状とトロフィーを受け取りました。



受賞作品の展示を見る参加者

最後に出席者全員がトロフィーを持ち、記念撮影を行いました。表

話されました。

この事業に参加している公衛協の推進委員、児童・生徒、保護者、学校関係者に対するお礼の言葉の後、「最近ではインターネットなどで情報を得て、世相を反映した作品が増えているように思います。子どもたちにもっともっと自然に触れて、自分が体験したことを作品に織り込んでほしい」とお話しされました。



各賞の表彰を受ける児童・生徒

持ちになります。どうか気をつけてほしいと思います。」と選考する際の思いをお話になり、高尾委員長から標語とコンクールの総評で、この事業に参加している公衛協の推進委員、児童・生徒、保護者、学校関係者に対するお礼の言葉の後、「最近ではインターネットなどで情報を得て、世相を反映した作品が増えているように思います。子どもたちにもっともっと自然に触れて、自分が体験したことを作品に織り込んでほしい」とお話しされました。

## 水道担当者研究協議会 初のハイブリッド形式で開催



災害時のコミュニケーション戦略について説明する江戸克栄先生

当協会は、12月5日に令和4年度保健所・市町水道担当者研究協議会を公衆衛生会館講堂で開催しました。当日は広島県をはじめ、県内各市町の水道事業者、関係者約100名が参加しました。

数々参加いただき、盛況のうちに閉会しました。本年度は、来賓として広島県健康福祉局食品生活衛生課長菊池和子様、広島市水道局次長松岡俊典様、福山市上下水道局施設部長嶋田佳樹様(水質管理センター所長黒川代理)をお迎えしました。特別講演には、公立大学法人県立広島大学

余儀なくされ、3年ぶりに開催しました。今年度は、来賓として広島県健康福祉局食品生活衛生課長菊池和子様、広島市水道局次長松岡俊典様、福山市上下水道局施設部長嶋田佳樹様(水質管理センター所長黒川代理)をお迎えしました。特別講演には、公立大学法人県立広島大学

調査の事例をふまえて、適切な避難行動のための災害マーケティングについて、示唆に富んだ話をしていただきました。これに続き、広島県健康福祉局食品生活衛生課の川西主任から「水道におけるクリプトスפורジウム等対策」についてと題し、浄水場のろ過施設の説

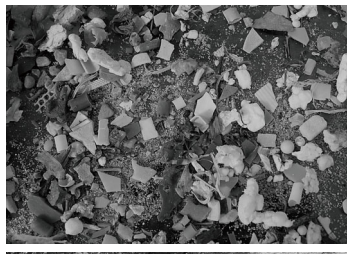
明と広島県内のクリプトスפורジウム等の対策について情報が提供され、大変参考になる講演でした。多発する大雨や土砂災害などの激甚化する自然災害、いつまた平成30年7月のような豪雨災害が起きないとも限りません。当協会は、本研究協議会から得られる知見や関係性を糧にし、水質検査を通じて災害時においても、安全・安心な水道水の供給を今後とも支えていきます。

(業務開発課 笠井佳子)

## 会員連携 海岸一斉清掃活動 210kgのごみを回収

広島県が進める海洋プラスチックごみ対策の一環として、幅広い業種の企業や団体・行政などをメンバーとする「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」通称「GSHIP(ジーシップ)」の会員ら13企業・団体から68人が参集し、尾道市因島のしまなみビーチと梶ノ鼻海岸を清掃しました。

因島には、県が定期的に漂着ごみの実態調査をしている地点が4海岸あり、このうち、漂着ごみが少ない「しまなみビーチ」と漂着ごみが多い「梶ノ鼻海岸」を会場として選定し、目指すべき姿の海岸と清掃が必要な海岸を感じてもらうという思いを共有しました。



しまなみビーチで回収されたマイクロプラスチック(上)、梶ノ鼻海岸で清掃する参加者(下)

しまなみビーチでは、「マイクロプラスチック」をテーマとし、漂着ごみの清掃をしつつ、配布した紙コップに見つけたマイクロプラスチックを集めました。赤や青、黄色などの硬質プラスチック片、発泡スチロールくずなどが多数集まり、参加者同士で「どこから来たのか」「小さくなると集めにくい」などの意見交流が行われました。

梶ノ鼻海岸は、実態調査においても多数のごみが漂着しており、海岸へのアクセスも難しいことから、ほとんど人が入らない海岸です。ペットボトルやフロートなど、プラスチックごみを中心に清掃を行いました。

回収したごみの量は、2会場を合わせて210kgとなり、2tのロングトラックに山盛りいっぱいになりました。清掃活動の後、しまなみビーチに集合して、清掃活動の成果の報告や海洋ごみについての学習会などを行い、2050年までに新たに流入する海洋プラごみゼロを目指し、協力して取り組もうという思いを共有しました。

清掃活動の後、しまなみビーチに集合して、清掃活動の成果の報告や海洋ごみについての学習会などを行い、2050年までに新たに流入する海洋プラごみゼロを目指し、協力して取り組もうという思いを共有しました。

(地域活動支援センター)



回収したごみでトラックがいっぱいに